

公営企業セミナーのお知らせ

「持続可能な上下水道の実現を目指して」

—— 公の責任、民の活用 ——

一般財団法人 都市技術センター
株式会社 大阪水道総合サービス

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび 一般財団法人 都市技術センター 及び 株式会社 大阪水道総合サービス では、上下水道事業に携わる自治体関係者の皆様を対象に第8回公営企業セミナーを開催いたします。

上下水道事業は、人が生きていくうえで不可欠なサービスを持続的に提供する基礎インフラです。最近では、八潮市で発生した下水道管の破損に起因する道路陥没事故等の教訓を踏まえた上下水道管路の老朽化対策の強化や、能登半島地震などの自然災害の教訓も踏まえた人口減少下における必要な上下水道サービスの維持が求められています。しかし、設置者たる自治体にとっては、財政状況の悪化や従事者の減少および経験値の不足などの課題が山積しているところです。これらの課題に有効に対応するためにも「上下水道料金の適正化」、「上下水道事業を支える人材の育成・確保」、「事業運営の一体化」や「システムの分散化」が不可欠となっています。今回は、民間との連携や事業を支える人材の育成について、政策メニューの紹介だけでなく、実際の事業に関与された方をお招きし、経験に基づいたご講演をしていただきます。

本セミナーの第一部では、令和7年4月より全国で初めて管理・更新一体マネジメント方式である「ウォーターPPPレベル3.5（更新支援型）」による業務を開始した宮城県利府町の大平慎太郎氏から、「上下一体包括的民間委託導入までのスキームと事業効果」について、自治体側の中核を担われたご体験に基づいてのご講演をいただきます。

第二部では、横浜市において下水道事業に限らず全市的な行政改革や公民連携など多様な業務を経験された野村宜彦氏から、公の立場で果たすべき上下水道事業でのリスクヘッジと、その対応に向けて必要な人材育成、組織のガバナンス向上の方向性等についてご講演をいただきます。

皆様にはご多忙中恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださるようお願いいたします。

敬具
(裏面をご確認ください)